

トルエン・キシレン・エチルベンゼンフリー
環境対応型ジンク塗料

ジンクプラス

Zincplus Silver & Light silver

亜鉛90%含有
ジンクプラス S

N7.4近似
シルバー

亜鉛82%含有
ジンクプラス L

N8.0近似
ライトシルバー



1 特定化学物質障害予防規則(特化則)対応品

厚生労働省では、事業場において労働者が有機物に晒されるべく露状況を把握するため、「有機物ばく露作業報告制度」を設けおり、この報告に基づきリスク評価を実施し、労働者に重い健康障害を及ぼすおそれのある化学物質については、必要な規制を実施。

2 有機溶剤中毒予防規則(有機則)対応品

労働安全衛生法に基づく有機溶剤の安全基準を定めた厚生労働省の省令で、対象となる有機溶剤を5%(重量パーセント)以上含有するものが規制対象。

3 良好な塗装作業性

たれにくく綺麗な仕上がり設計で、乾燥時間も従来品と相違なく快適な作業性を実現。

4 上塗り可能

鉄の地肌 directly 塗布することで防錆効果を発揮するので下塗りプライマー不要。上塗りが必要な場合にも、様々な塗料との付着性にも優れており、あらゆる塗装仕様に組込むことが可能。

5 円滑な既存品からの切替え

被塗物に合わせて2種類の仕上り色をご用意。既存品スーパージンクの切り替えにはジンクプラスS、ラスタージンクの切り替えにはジンクプラスLがおすすめです。



使用用途 ※従来のジンク塗料と同様にご使用いただけます。

◆亜鉛めっき鋼材の溶接跡、切断面、穴あけ加工、亜鉛のタレ、キズ、めっき箇所等の錆止め補修◆めっき槽に入らない大型構造物や熱歪みでの薄物への亜鉛めっきの代替◆鉄塔、船舶、橋梁、電気設備などの古くなって錆の出始めた亜鉛めっきの延命補修塗装◆鉄鋼材の長期的防錆◆古くなった亜鉛めっきのリフレッシュ

性状

| | S(シルバー) | L(ライトシルバー) |
|--------|------------------|------------|
| 亜鉛未含有量 | 90% | 82% |
| 仕上がり色 | N7.4近似 | N8.0近似 |
| 引火点 | 32℃ | |
| 推奨膜厚 | 80μm(Dry) | |
| 希釈剤 | ジンクプラスシンナーR(専用) | |
| 乾燥時間 | 指触:30分/完全:24時間以上 | |
| PRTR法 | 非該当 | |
| 特化則 | 非該当 | |
| 有規則 | 非該当 | |
| 消防法 | 第4類第2石油類(非水溶性) | |
| 安衛法表示 | SDS参照 | |

荷姿・入れ目

| | S(シルバー) | L(ライトシルバー) |
|-----------|---------------------|----------------------|
| エアゾールスプレー | 300ml【0.4mi/本】:24本入 | 300ml【0.7mi/本】:24本入 |
| 刷毛塗り | ミニ 【0.16mi/缶】:12缶入 | ミニ 【0.53mi/缶】:12缶入 |
| | 1Kg 【1.6mi/缶】:6缶入 | 0.7Kg 【3.7mi/缶】:6缶入 |
| | 5Kg 【7.8mi/缶】:2缶入 | 3.5Kg 【18.4mi/缶】:2缶入 |
| | 20Kg 【31.0mi/缶】:石油缶 | 16Kg 【84.0mi/缶】:石油缶 |
| 希釈剤 | ジンクプラスシンナーR | |
| | 1L:10缶入 | |
| | 3L:2缶入 | |
| | 16L:石油缶 | |

※塗料の希釈には、専用の「ジンクプラスシンナーR」をご使用ください。使用後の刷毛の洗浄には市販のシンナーをご使用いただけます。

塗装上の注意

ジンクプラスの性能を十分に引き出す為には、前処理が非常に重要です。塗布面の旧塗膜や油、スラッグなどは全て取り除き、鉄の地肌に直接塗って下さい。詳しい前処理方法は「ジンク塗装仕様書」をご参照下さい。

ハケ塗り

ハケ塗りは全て調合済みですので、十分に攪拌してそのまま塗布して下さい。塗装中に溶剤が揮発し粘度が上がってきた場合には、専用のうすめ液を適量加えて元の粘度に調整してください。最初から薄めてしまうと、亜鉛末の付着量が少なくなり、本来の防錆力が得られなくなります。ガン塗装される場合は、専用うすめ液で5wt%程度希釈してご使用ください。※うすめ液は必ず専用のうすめ液をご利用ください。(ジンクプラスシンナーR)※使用した刷毛等を洗浄する際は、通常のトルエン・キシレンを使用することも出来ます。

エアゾールスプレーの目詰まり防止の為に

エアゾールスプレーを噴射後、そのまま状態で保存すると、噴射口とエアゾール缶の中のチューブに亜鉛末が固化し、目詰まりの原因となります。使用前は、よく缶を振っていただき、使用中で止める際は、エアゾール缶を逆さまにして3秒ほど空吹きして下さい。詳しくは、「エアゾール缶の詰まり防止について」をご参照下さい。